

ため池 訪問 ルール	駐車場	魚釣り	バーベキュー	ペット糞尿	たき火	生物放流	車両進入	その他
	×	×	×	×	×	×	×	



ため池データ

所在地	高砂市阿弥陀町北山字村ノ北 285		
総貯水量	8,500 m ³		
貯水面積	7,000 m ²	受益面積	4.0 ha
管理者	北山水利組合		
築造年	年代不明（江戸時代）		
改修年	不明		



ため池紹介

村が正保2年（1645年）北山新田開拓されたところに造られました。北山鹿島神社は、地域の貴重な財産です。

◆歴史・文化等

村が造られた頃に（正保2年）姫路城主から土地を与えられ再建。北山鹿島神社は、建御雷（たけみかずち：鹿島神）をお祀りしています。創建者は、当部落の開拓者小島（駒井）利兵衛です。ある夜、利兵衛の枕頭に白髪の翁が現れ「この地の田子の池を中心として開拓すべし、そうすれば、村は栄えるであろう…」そう告げると姿を消しました。利兵衛は仲間と開拓の鋤をふるいました。さらに、その年の秋に「鹿島の神霊をお祀りせよ」とお告げを聞いた者があり、このことを姫路藩主（松平忠明）にお伝えすると藩主も驚き調査をされました。その調査中の時、突然、東の山より角には光り輝く玉を頂いた牡鹿と牝鹿があらわれ、その玉を今の社の地に落とし、西の方に走り去り姿を消したのです。検使（調査官）から、この話を聞いた藩主は深く感動して鹿島神社を創建「正保二年（1645）」したと言います。以来、村には不思議なめでたいことがしばしばおこりました。

日清、日露、第1次、第2次戦争、村人全員帰還し、戦死者0でした。また、昭和31年、最後の兵1名がシベリアから帰還（11年間の抑留）死者なし。



阿弥陀新池とは重ね池の兄弟池



東の山より現れた牡鹿と牝鹿の神鹿像

ため池ごよみ



	項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
農 作 業	水稲												
	溝掃除（普請）												
水 利 ・ 保 全 作 業	堤体草刈												
	グリーンキャンペーン（草刈・清掃）												
	配水操作（ゲート、セキ板等）												
	かいりぼり（池干し）												
イ ベ ン ト 等													
主 な 動 植 物 の 見 頃													
景 色 等 の 身 頃 （ 周 辺 も 含 め た 眺 め ）													
そ の 他	大雨前の事前放流												